

■板谷波山 陶芸と無縁の社会に生まれながら、傑作を作り続け、陶芸家として初の文化勲章で長寿を締めくくった。

いたやはざん

学問のすすめ1872= 茨城県真壁郡下館町(現下館市)で醤油醸造業を営む旧家の三男に生まれる。

明治6年政変 1873= 1歳: 三味線・茶の湯・文人画を嗜む風流人の父のもとに育ち、

西南戦争・・・1877= 5歳: 尋常小学校に入学、

明治14年政変1881= 9歳:

新体詩抄・・・1882=10歳: 父が死去。

内閣発足・・・1885=13歳: 卒業後、丁稚奉公に出されるも続かず、陶器に興味を抱き筑波山麓の窯を訪ねるが廃窯だった。

国民之友始・・・1887=15歳: 上京して陸士予備校の{成城学校}に入学。

帝国憲法公布1889=17歳: 東京美術学校彫刻科入学。

帝国議会始・・・1890=18歳: 岡食天心・高村光雲らに学ぶ一方、生涯の友・新納忠之介と出会う。

日清戦争始・・・1894=22歳: 卒業にあたり「木彫元禄美人」を制作。予備校や中学校で美術を教え、各種文様を写しとるなどして訓練、

日清戦争終・・・1895=23歳: 日本画を良くする女性と結婚、

白馬会・・・1896=24歳: 長女誕生後、石川県工業学校彫刻科教諭として金沢に赴任。

八幡製鉄始・・・1897=25歳: {大日本窯業協会雑誌}に図案などを投稿し始める。

子規句歌革新1898=26歳: 長男が誕生。彫刻科が廃止され、陶磁科を担当、陶芸に本格的に取り組むようになる。

Bushidou・・・1899=27歳: 九谷、京都、瀬戸などを訪れ各地の窯の様子を勉強する。この時期、アール・ヌーヴォー様式を知る。

ピノコ産化・・・1900=28歳: 粕下彩磁の研究に取り組み始める。

日比谷公園・・・1903=31歳: 陶芸で立つ自信を得たことから、辞職して上京、東京高等工業学校窯業科嘱託となる。滝野川村田端に住居と工房を建て、郷里の筑波山に因み波山と号する。

日露戦争始・・・1904=32歳: 指導を受けて丸窯の築造を開始、

日露戦争終・・・1905=33歳:

満鉄発足・・・1906=34歳: *完成。早速{日本美術協会展}に出品して技芸褒状1等、益田孝にも買い上げられるなど実力を示す。

韓国反日暴動1907=35歳: 第1回東京勲業博覧会で3等賞を受賞。生活苦のため杯・徳利を販売しながら、

アヲボ創刊・・・1908=36歳: {日本美術協会展}で銅賞牌とともに、絶賛を受ける。

伊藤博文暗殺1909=37歳: 委員になるとともに、皇后へ献上、

韓国併合・・・1910=38歳: 終生ロクロを務めることになる現田市松と出会う。

大逆事件判決1911=39歳: *御前制作の荣誉に浴し、第2回全国窯業品共進会で1等賞金牌を受賞。

明治天皇没・・・1912=40歳:

以後、連年のように出品した作品が賞を受け、買い上げが続く。

第一次大戦始1914=42歳: 大正天皇即位記念東京大正博覧会の鑑査員となり、出品の「薬光彩磁孔雀唐草文花瓶」が宮内省買上げ。

21ヶ条要求・・・1915=43歳: 第3回農商務省展で2等賞・3等賞を受賞。シカゴ万国博覧会に出品して受賞。

ロシア革命・・・1917=45歳:

本格政党内閣1918=46歳: 新潟県長岡市で{波山会}が設立される。

原敬首相暗殺1921=49歳:

関東大震災・・・1923=51歳: 震災にも無事で、なお、受賞・買い上げが続く。

治安維持法・・・1925=53歳: 鑄金の香取秀真、漆芸の赤塚自得らと工芸済々会を結成する。

日本時代始・・・1926=54歳: 京都の清水六和らと日本美術協会を設立。

金融恐慌・・・1927=55歳: 第8回帝展に美術工芸部が新設され審査員となる。結成された東陶会(関東在住陶芸家団体)の顧問。

世界恐慌・・・1929=57歳: *香取とともに工芸家として初の帝国美術院会員となる。パリでの日本美術展覧会に尽力し、

海軍軍縮条約1930=58歳: フランス・アカデミー勲章を贈られる。

満州事変・・・1931=59歳:

国際連盟脱退1933=61歳: この頃から、郷里の高齢者に鳩杖を制作して寄贈し始める。

帝人疑獄事件1934=62歳: 帝室技芸員に任命される。

芥川直木賞始1935=63歳: {改組帝国美術院}会員となる。

日中戦争始・・・1937=65歳: {帝国芸術院}会員となる。

健保+総動員 1938=66歳: 戦没者遺族に観音像や香炉を制作して寄贈し始める。

第二次大戦始1939=67歳: 国民的雑誌{キング}に伝記が掲載される。

大政翼賛会・・・1940=68歳: 藤井石童「板谷波山」が刊行される。

日米開戦・・・1941=69歳: 工芸美術家たちによる波山古希祝賀会が東京学士会館で開催される。

年金+総武装 1944=72歳:

敗戦・・・1945=73歳: 空襲のため田端の工房が全焼する。下館の生家へ疎開。

新憲法公布・・・1946=74歳: 近傍の窯を借りて制作を再開し、{第一回日展}に出品。

朝鮮戦争始・・・1950=78歳: 田端の工房を再建する。

独立回復・・・1951=79歳: 下館町名誉町民に推される。

TV放送始・・・1953=81歳: *陶芸家として初の文化勲章を受章する。

自衛隊発足・・・1954=82歳: 茨城県名誉県民に推挙された。

老齢のため、続けてきた郷里の高齢者への鳩杖寄贈・戦没者遺族への観音像や香炉の寄贈を終了、

インスタラマン 1958=86歳: 妻が死去。

美智子妃・・・1959=87歳: 波山米寿記念展が東京日本橋三越で開催される。

TV宇宙中継始1963=91歳: 現田市松が交通事故で死去すると、その後を追うように没した。

荒川正明「板谷波山の生涯」、出光美術館「板谷波山」、中ノ堂一信「近代日本の陶芸家」、没年日本史人物事典、平凡社百科事典、